

陳 情 文 書 表

受付番号	第13号
件名	日常生活用具の要望書 「テレビが聞ける」ラジオ
受付年月日	平成29年5月24日
陳情者	三田市身体障害者福祉協議会視覚障害者部会 会員一同 三田市 三田市身体障害者福祉協議会視覚障害者部会 会長 山口義照
要旨	<p>テレビ放送のデジタル化に伴い、ラジオでテレビが聞けなくなり、とても淋しく思っていました。</p> <p>「テレビが聞ける」ラジオを視覚障害者にとっては待ち望んでいたことです。</p> <p>見えない見えにくい私達には、音声は日常生活において必要不可欠なものです。視覚障害者の大切な情報源であります。</p> <p>私達視覚部会も、4月21日（金）福祉保健センターにおき、「テレビが聞ける」ラジオ機器の体験会を行いました。</p> <p>三田市障害福祉課、私達を支援して頂いている方にも体験会に参加して頂きました。操作がとても簡単で、テレビ、ラジオなどの切り替え、全てのメニューの選択が、ボタンで選べます。又、すべての操作ボタンに「AMラジオ放送です」と、音声で誘導もしてくれます。点字もついています。軽量で持ち運びも楽にできます。</p> <p>また、電源を切っている状態でも、地震災害の時には電源が入り知らせてくれるので、安心です。使いやすくて軽量、災害時も一役担えます。見えない、見えにくい私達も楽しみが増え、生活の幅が広がります。災害に対しても安心です。</p> <p>是非とも「テレビが聞ける」ラジオを、日常生活用具として、つよく要望いたします。</p>
付託委員会	福祉教育常任委員会